

佐賀県の視覚障害教育を結ぶ



今年度初めて弱視の児童生徒を担当された先生もいらしたかと思いますが、1学期はいかがでしたでしょうか。児童生徒たちも新しい環境に慣れ、学習活動等に積極的になってきたころかと思います。2学期には遠足や体育祭など、様々な行事が計画されている学校も多いことと思います。行事の前後は日ごろの時間割や教室等が通常から変更になることも多く、日ごろとは異なる配慮が必要になることがあります。そこで、今回は行事の配慮として役立つ情報をお知らせします。

行事における配慮について

運動会・体育祭について

○徒競走：走るラインがわかりにくい・ゴールがわかりにくい

走る順番が後になると、コースのラインが消えていき、さらにわかりにくくなるが多いようです。ラインをはっきり見える色や太さで引いておく、早めの走順にする等の手だてがあります。コーナーがある場合は、内側に人や視認しやすい色の三角コーン等を配置して、わかりやすくすることも大切です。

ゴールについてはゴールテープの近くで先生が声や音で知らせたり、ゴールの奥に目印となる三角コーン等を置いたりすると有効です。

また、手をつないで走らなくても、少し前を視認しやすい色の服を着た先生が走れば大丈夫という例もありますので、児童生徒と話し合ってみてください。(入退場や隊形移動の際も同様です。)



○玉入れ：玉を入れるかごが見えない・上手く玉を拾うことができない

玉を入れるかごが遠いため、視力や視野の問題で見えにくいことがあります。また、人の体がチラチラと視界を遮り、投げるための玉を拾うことが難しいこともあるようです。かごが見えやすいように色やテープや飾りをつけたりする工夫ができます。投げる角度や方向は、児童生徒の腕をとって知らせると把握しやすくなります。玉は手渡すか箱などに入れておき、そこから取って投げるようにするとわかりやすくなります。

○リレー：バトンパスが難しい

バトンをもらう時も渡す時も、声で知らせるようにします。周囲が「3・2・1・ハイ」とタイミングを示して練習しておくとういでしょう。チームごとに、違う色のビブス等を着用し、バトンを渡す相手をわかりやすくすることも有効です。その際、色が見えにくいといった色覚特性を持つ児童生徒の場合、見え方によって赤と緑、緑と茶色、ピンクと水色などの組み合わせは避けた方がよいかもしれません。



○体操やダンス：手や足の動きの模倣、移動等の動きが難しい

手を実際にとって具体的に一緒に動かしたり、ステップ等を個別に練習したりする支援が必要です。動画で練習することも有効です。「右手を上には伸ばして、耳の横にしっかりつけて」等、言葉で細かく説明することや、お手本になる児童生徒の後ろだとわかりやすい場合もあります。



○応援：競技をしている場所が遠かったり動きが速かったりして、何をしているか、どういう状況なのかがわからない

横で現在の状況を説明し、状況が許せば傍に行って見るようにすると、楽しく参加できるようになるかもしれません。



運動会や体育祭は、長い時間外で活動します。まぶしさへの対策として、つばの広い帽子の着用や、遮光眼鏡をつけることも大切です。短時間ではありますが、国旗・校旗掲揚時に帽子を脱ぐのが負担になる児童生徒もいますので、声を掛けてみてください。

遠足・修学旅行について

○事前学習：電子黒板での細かい内容が見えにくい

行先の説明等を行う場合、電子黒板の情報をタブレットで見られるようにしたり、印刷しておいたりしておくとしっかり確認することができます。



○移動：大勢で一斉に移動するのが難しい・先生がどこにいるのか分かりにくい等
人込みの中を歩く時などに不安を感じる児童生徒も多いようです。他の児童生徒も同様ですが、引率の先生が目立つ色の帽子や上着を着ると、集合の際などに見つけやすくなります。

普段乗り慣れない乗り物の利用も多いことと思います。特に、電車はホームと車体の間に大きな隙間がある場合があります。乗車・降車の際には、落ち着いて出入り口近くの手すりなどを掴み、一旦立ち止まって隙間の幅を確認してから一步目を踏み出すように指導しましょう。

○施設等の見学：展示物等が遠くて見えにくい

博物館等の見学に行く際、事前の相談次第で、一部のものを手に取って触らせてもらえたり、ガラスのケースから出してもらえたりすることがあります。単眼鏡で見たり、許可が下りた場合にタブレット等のカメラ機能を活用したりすると見やすくなります。カメラ機能の使用において、普段撮影できないものを映した時は、データを削除するところまで指導しましょう。

○トイレや浴室等：初めての場所で分かりにくい

トイレは、すぐに中が見えてしまわないように、入口から少し入り組んだ構造になっている場合や、流水レバーやトイレットペーパーの場所が分かりにくい場合もあります。先生から流水レバーやトイレットペーパーの場所を教わると、安心して利用することができます。

浴室についても、普段と違うため戸惑いがあります。特に、シャワーの温度管理は注意が必要です。熱い湯をかぶってしまわないように、事前にレバーや構造をしっかりと確認し、安全に使用できるようにすることが大切です。

以上のように、今回は学校行事における配慮点をお伝えさせていただきました。児童生徒が学校行事を通し、さまざまな経験を積んで成長してくれることを願っています。

佐賀県立盲学校

電話 (0952) 23-4672

FAX (0952) 25-7044

代表メール mougakkou@education.saga.jp

お気軽に御連絡ください。巡回相談の依頼も受け付けています。